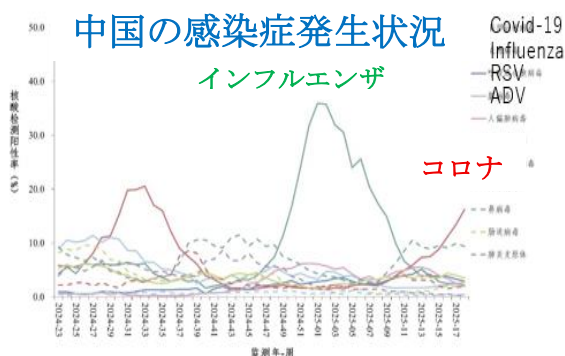


豊栄病院 ニュース

令和7年6月号

先月号でもお知らせしたように、この4月から豊栄病院は、常勤医師が増えそして新入看護師さんが加わり、非常に活性化された感じがしています。さらに、研修医が診療に参加し、新潟大学医学部の医学生や、看護学生が病院に実習に来たりと、病院がにぎわっている感じです。豊栄病院が一丸となり、和気あいの雰囲気、患者さんや他の医療関係者の皆様と良い関係を築き・続けていきたいと思ひます。

豊栄病院では、5月上旬に病棟の患者さんに新型コロナの感染が起こり、2週間ほど入院制限や面会制限を行いました。皆様方にご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。職員は、十分に感染対策を行っているつもりですが、残念ながら、100%は防ぎきれません。



病院の外来・救急外来におけるインフルエンザ様疾患患者の呼吸器検体における病原体核酸検出陽性率の週別推移

https://www.chinacdc.cn/iksj/iksj04_14275/202505/t20250508_306641.html

さて新型コロナウイルス感染について、最近日本では流行が下火になっているように見えます。しかし、世界的には香港と中国本土で、流行が再燃しています(上図、CDCのホームページに公表された中国の感染症のデータ。以下、新潟大学医学部国際保健学分野、齋藤玲子教授の報告をもとに、情報提供させていただきます)。2024年のCOVID-19の変異株はJA.1から、2025年はXDVに変化しています。中国情報によれば、過去JA.1株に感染しても、今流行のXDV株にもかかり得る、という事です。なおXDV株に対しても現在のワクチンは有効性があるとの事です。

最近、中国からの観光客が増え始めました。日本でも再び新型コロナ感染の流行が起きるかもしれません。引き続き注意が必要です。



阿賀野市の瓢湖では、シベリアに帰らずに居座っている白鳥が何羽かいます。人懐っこい？

5月29日新潟県病院局が2024年度の県立病院の病院事業会計が過去最大の46億円の赤字となったことを公表しました。このままでは、今年度末にも運転資金に当たる内部留保金が枯渇する見込みであることも公表しました。内部留保金が枯渇すれば給与支払いや医療機器、薬品を購入することができなくなる事態となります。ちなみに新潟県立病院の病院事業会計には県の一般会計から146億円の資金が繰り入れられていて、医業収支でいえば192億円の赤字が生じているわけです。なお、豊栄病院が所属している厚生連の事業会計の公表は6月末になりそうですが、昨年8月時点の75億円余の赤字予測から、30億2千万円の赤字に圧縮されたようです。県・市町村から計約20億円の財政支援とボーナスカットなどで、当面の経営危機は乗り切ったとしています。それでも経営状況は厳しい状態は続きます。豊栄病院は昨年度も収支は黒字でしたが、決して楽に運営できているわけではありません。また、済生会新潟・県央基幹病院も決算を発表し24年度当初予算400万円の赤字計画が、実際は10億3400万円の赤字になったという事です。新潟県の医療の未来はどうなっていくのでしょうか。

発行責任者・文責;豊栄病院広報係 宮島 透

豊栄病院 (代表)

TEL 025-386-2311

FAX 025-386-2370

豊栄病院 患者総合支援センター

TEL 025-386-2801 (直通)、FAX 025-386-2784